

2025年4月3日



各位

会社名 株式会社 ステムリム  
代表者名 代表取締役社長 CEO 岡島 正恒  
(コード番号:4599 東証グロース)  
問合せ先 経営管理部 植松 周平  
(電話番号:072-648-7152)

**再生誘導医薬®レダセムチド(HMGB1断片ペプチド)の  
外傷性関節軟骨欠損症、変形性関節症、および離断性骨軟骨炎を適応症とした  
特許登録(中国)のお知らせ**

当社から塩野義製薬株式会社(本社:大阪市中央区、代表取締役会長兼社長 CEO:手代木 功)へ導出済みの再生誘導医薬®開発候補品レダセムチド(HMGB1<sup>1)</sup>)より創製したペプチド医薬、開発コード:S-005151)を利用した外傷性関節軟骨欠損症、変形性関節症、および離断性骨軟骨炎に対する新規治療に係る用途特許について、下記のとおり中国において特許が登録されることとなりましたので、お知らせいたします。

発明の名称 : 軟骨疾患の治療薬  
出願地域 : 中国  
出願番号 : 201980085703.X号  
登録(公告)番号 : 未定  
出願人 : 株式会社ステムリム、国立大学法人大阪大学

本特許は、現在開発が進んでいるレダセムチドの適応症の拡大を目的とするものであり、本特許の成立により、中国におけるレダセムチドに基づく外傷性関節軟骨欠損症、変形性関節症、および離断性骨軟骨炎の治療薬開発の可能性を担保することができるものと考えます。

中国における医薬品市場は、米国に次ぐ規模を誇っております。また人口動態の変化、生活習慣病の増加、経済成長等により継続的な拡大が見込まれており、2024年1,050億米ドルから、2028年には1,850~2,150億米ドルに成長すると予測されております。中国において、当社の開発医薬品に関する特許を多面的に取得することは、医薬品開発の可能性を広く担保し、当社の事業基盤を強化する機会につながるものと考えます。

なお、本件による2025年7月期通期業績への影響はありませんが、開示すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以上

1) HMGB1 (High Mobility Group Box 1): 体内の間葉系幹細胞を患部に誘導する細胞の核内タンパク質の1つ

※「再生誘導」、「再生誘導医薬」、「再生誘導医学」、「再生誘導医療」はステムリムの登録商標です。